

くびらくも



千里の道も 一歩より起こる

1月30日の朝会で次のような話をしました。

先週の金曜日に、百人一首大会がありました。校長先生も読み手として参加させていただきました。毎回のことですが、驚かされます。その札を取るのに早いこと、早いこと。私が上の句のそれこそ最初の言葉、例えば、「久方の～」と読んだ途端に、「ハイ！」と声が出て、札を取ってしまうんですから。

中には、百首全部覚えてるという子もいるのには、脱帽です。よくもまあ、覚えたもんだなあと感心してしまいます。

でもどうでしょうか。今、百首全部覚えた人も、最初は一つの歌から覚えたのではないのでしょうか。「千里の道も一歩より起こる」という諺がありますが、目標までの長い道のりも一歩から始まります。何事も、一歩一歩、少しずつ少しずつ、何度も何度も、繰り返し努力を重ねることが成功の秘訣だと思います。

これからも、目標をかなえるために、根気よく取り組んでいってください。

授業公開・百人一首大会(1/27)



静けさの中にも飛び散る気迫！



青少年を育てる会(1/28) もろざき花いっぱい運動



授業公開



環境部会の方々のご協力により、師崎小学校区の11ヶ所へ合計78個のプランターを配布していただきました。

水やりなど、大切に世話をしていただければ幸いです。

昔遊びの会

(1/31~2/3)



福笑い



あやとり



コマ回し「昔とったきねづかじゃい！」

この他に、メンコのコーナーもありました。楽しいひとときをみんなで過ごしました。児童会や6年生の皆さん、ご苦労様でした。ありがとうございました！

4年生1/2成人式 (2/15)



これまで育てていただいた感謝の気持ちをお家の方へ伝えました。そして、正しく判断できる大人になれるようにこれからの10年を大切に使うことを誓い合いました。



2/6朝会講話

季節の変化を楽しもう

先週の金曜日、2月3日は節分でした。節分の節とは「季節」のことを意味しています。だから、節分は季節を分ける日で、季節の始まりの日の前日をさします。

日本には、大きく4つの季節がありますので、季節の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日は、4回あったのですが、江戸時代以降は特に立春(毎年2月4日ごろ)の前日を指すようになりました。これから温かくなってくる、1年が始まるんだという願いからだと思います。

この節分を過ぎたあくる日の2月4日が、暦の上では、立春と言って、季節はい

よいよ春に向けて移り変わっていきます。

これから一日一日、日の出時刻は早くなっていき、日の入りの時刻は遅くなっていきます。太陽の出ている時間が、毎日2分ぐらいずつ長くなっていきます。また、太陽の地平線からの角度も少しずつ高くなり、日差しが強くなってきます。

この頃になると、日当たりのよい空き地や土手にオオイヌノフグリの花を見つけたり、フキノトウの芽に気づいたりするようになります。

皆さんも日本ならではの季節の変化を探してみてください。ぜひ、季節の変化を楽しんでください。